



## 年 頭 に あ た っ て

安倍首相は、1月6日年頭の総理記者会見でも、憲法改正については「憲法制定以来68年になるので改正に向け国民的議論を深めたい」と明言しています。

昨年12月26日の内閣発足1周年には、靖国神社参拝を行って中韓両国からは、その歴史認識を問題にされ、米国をはじめ、国連・ロシアなどからも批判を浴びました。それに先立つ国会では、極めて問題のある「特定秘密保護法案」を十分な審議を経ずに12月6日に強行採決して成立させる等、衆参両院での絶対多数を頼んだ暴挙が行われています。

自民党が、今年1月8日に決めた運動方針案では、「靖国神社参拝を受け継ぐ」と明記し、憲法改正については「党是である憲法改正の実現に向けて、党全体として積極的に取り組む」と踏み込んだ内容となっています。

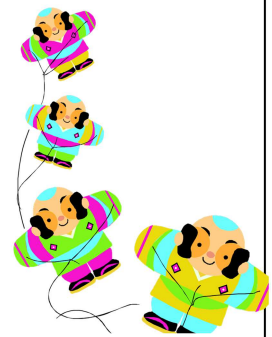
このような高姿勢になっている源泉は、一昨年12月16日の総選挙にさかのぼります。この時自民党は、小選挙区制の利点を生かして比例得票率28%にもかかわらず、衆議院480議席中294議席の絶対多数を獲得。また昨年7月21日の参議院選挙でも改選121議席中65議席を占めました。いわゆる衆・参のねじれ現象を解消して、公明・維新・みんななどの翼賛政党を加えれば憲法改正の発議に必要な3分の2以上を確保するに至りました。

そのほか、我国には、東日本大震災からの復興、原発再稼働問題、4月からの消費税増税、沖縄・普天間飛行場の辺野古移設の動きに見られる沖縄基地の永久化、TPP参加、等々国民の利害が反する問題は山積しており、我々九条の会の活動に影響を与えざるを得ない状況になってきています。安倍内閣の支持率が高いといっても、昨年の参院選の自民党の比例代表得票率は35%に過ぎません。平和的な日本国民はこのような逆コースを決して支持していないと確信します。

私たち、代田・九条の会は、加藤周一、大江健三郎、井上ひさしさんら9人の知識人の呼びかけ「九条の会アピール」に呼応して2008年11月3日に発足し、既に6年目に入っています。

今年を、「戦争をする国」への改憲の企てを粉碎し、平和憲法を、九条を、守り活かすよう、地域に根差した運動で頑張っていきますので、会員及び賛同者の方々のご協力をお願いします。

(代田・九条の会代表・野間口 至)



## 2014 年 活 動 計 画 決 ま る

1月12日(日)代田・九条の会世話人会を、新年会を兼ねて代田九条の会の会員でもある「やぶ重」において参加者9名で行いました。新年会では、昨年の秘密保護法の強行可決、安倍首相の靖国神社参拝、内閣法制局長官の交替など、今年の春から憲法解釈改憲の危険な動きがある中で、都知事選の重要性や、九条の会アピールに賛同する人を広め、九条を守り活かしていく運動の新たな発展の年にしようと、多くの意見が出ました。

### ——2014年活動計画——

- ①私たちが住み、暮らし、働いているまち・代田に「日本国憲法9条」を守り、生かしていく為に「九条の会」アピールに賛同する人を広めていきます。
- ②世話人事務局会議、ニュースの発行・配布を、毎月1回。
- ③集いなどの企画



- ・3月15日(土)学習会 : 「憲法解釈改憲と集団的自衛権」(仮)
- ・4月6日(日)「世田谷区内戦跡めぐり」 : 三宿「彰古館」、陸軍病院跡地など。その後お花見も。
- ・5月10日(土)憲法日念日によせてのつどい : 「憲法9条・平和に関する講演と楽しい企画」
- ・8月 日( )終戦記念日によせて ; 「戦争を語る会」、
- ・11月3日(月・祭)6周年のつどい : 「憲法9条・平和に関する講演と楽しい企画」

④財政 収入は、集いなどの参加費、募金、九条りんご・九条カレンダーの販売、区教育文化助成金など  
支出は、講演料、出演料、会場費、紙代、切手代など

⑤世田谷・東京・全国の九条の会や憲法9条を守る団体と、対等平等の立場で協力して活動を進めます。

\*集いなどの企画、活動についての御意見をお寄せ下さい。

(世話人会事務局 小澤 清子)

# 2014年 新年にあたって

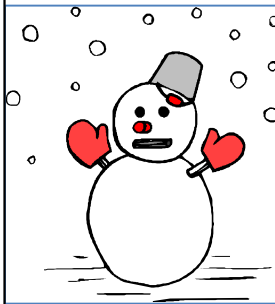
## 呼びかけ人・事務局メンバー メッセージ

戦争を体験した私にとって、この70年の平和はかけがいのない、貴重なものです。また、その間、外国を侵略していない、というのもうれしいことです。安倍内閣のここのところの暴走はどういうことでしょうか。全く理解に苦しみます。しかも、国会で「特定秘密法」が可決されたということは、多くの議員が賛成したということですね。何を考えているのか理解に苦しみます。我が国が、これからも、ずっと、平和国家であり続けるよう、祈っております。

加藤 榮一

### 合い言葉

私が子どもだったとき、  
1945年（昭和20年）、敗戦の年。  
日本人男性の平均寿命は23.7歳だった。  
女性は34歳。  
つまり、男性は24歳まで生きられなかった。  
今、  
日本人男性の平均寿命79.94歳。  
女性は86.41歳、世界一。  
私は今、ちょうど79歳。  
今年6月に80歳、傘寿を迎える。  
日本国憲法・第9条が施行されて66年余、  
「戦争をしない国」は、戦争での殺し合いは一人もいない。 生かされた命はありがたい。  
今、  
この国の過去に 目を閉ざさせ、  
この国の明日も 目・耳・口を塞がせて、  
この国を「戦争する国」へとする企みがある。  
今、私たち みんなの 合い言葉は、  
「第9条を孫子の世代に無傷で手渡そう！」  
高岡 岑郷



除夜の鐘が二十四年を告げた夜間、安倍首相は、インタビュで「憲法改正」を公言。戦後日本の平和を守ってきた憲法が岐路に立たされている。昨年、秘密保護法の成立、靖国神社への参拝、武器弾薬の輸出に続き、今年、解釈改憲による集団的自衛権行使の容認、日米ガイドラインの再改定などを日程に上らせようとしている。

憲法九条は、自衛以外の武力行使は一切しませんと宣言することで、世界の信頼を確保し、日本にしかできない日本外交の強みとなっていました。今こそ九条の会の出番です。

小澤 清子

今年一年、持続して常に声を発しなればならないのが、「秘密保護法」の撤廃のこと、そして「共謀罪」の制定など弾圧立法との闘いです。黙っていたら後々後悔することになり、後世の人に顔向けできない。そのためにもひとりひとりが、心豊かになることです。劇団東演も今年が創立55周年、これからも地道に歩んでいきます。

横川 功

本当に腹立たしいことばかり続きます。ただ、これも見方を変えれば、焦りの表現のようにも見えます。今の内に、ということでしょうか、全く未来が見えていないことに改めて驚かされました。

今年は、本当に明日の見える時代になれば、と願っていますし、しなければ、とも思います。

福島 明夫

2013年、ニュースを見るたびに怒りが湧き、年末には韓国軍への銃弾提供とあきれ返りました。2014年は、特定秘密保護法を施行させず、TPP交渉や原発再稼働・沖縄普天間基地の辺野古への移転をやめさせ、戦争できる国づくりを強力に推し進める安倍内閣に“NO”という声を大きくして、憲法を活かしていけるような活動を、みんなで行っていきたく思います。

萱野 幸子

生活保護基準の引き下げは許せません  
安倍内閣は、昨年8月1日から生活保護基準を引き下げました。その措置に対し、世田谷生健会は、10月22日に都に対して「口頭意見陳述」を行いました。しかし、11月5日に棄却されました。12月4日には厚労省へ「不服審査請求」。回答待ちというところです。憲法25条を国に守らせる為にも、新春からたたかっていきたくと思っています。

荒川 興道

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、  
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～  
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++





明けましておめでとう御座います。今年もよろしくお願い致します。  
 安倍政権は昨年臨時国会で「日本版NSC法案」「特定秘密保護法案」を強行採決し、「防衛大綱」を閣議決定しました。これらは保守勢力が従来から主張してきた「専守防衛論」の建前さえ投げ捨てる暴挙です。  
 さらに、今年は、「武器輸出三原則」の見直し、「集団的自衛権」の容認等の危険な動きを画策しており、日本国憲法の根本を否定する「解釈改憲」の道を一層推進し、日本を「戦争のできる国」へと作り変えようとしています。  
 私達は、こうした安倍政権の方針を絶対に許すことは出来ません。今こそ私達は闘いの正念場を迎えていると思えます。共に頑張っていきましょう。  
 俣野 景彦

12月に起こったいくつかのことは、長く記憶にとどまるだろう。6日は特定秘密保護法の強行採決。17日には「国家安全保障戦略」「防衛計画の大綱」「中期防衛力整備計画」の閣議決定。26日の安倍首相の靖国神社参拝。「戦争のできる国」への大きな歩みがなされた。  
 憲法九条を持つ日本は、国際関係に武力・戦力を用いない、というこれからの世界標準とすべきものを持っている。実際に安倍内閣が行ったことは、このことに真っ向から反するものだ。  
 決して、これらの動きにくみすることなく、これからも憲法を守り・活かしていく活動を強めていきたいと思う。  
 伊東 宏

行きつく処、アベ首相は日本をどうしたいのか、ドイツのナチズム・イタリアのファシズム、共に戦後は政治にかかわれなかったそうです。A級戦犯の孫は野放しでいいのだろうか。彼は新聞を読んでいるのだろうか。誰かにあやつられているのだろうか。不安だらけです。  
 湯沢 勉

年のはじめに  
 安倍首相は年末に靖国神社を参拝した。靖国は戦犯を合祀し、侵略戦争を正当化する象徴である。侵略による犠牲者の苦痛を踏みにじる行為であり許しがいた。  
 参拝はアジア諸国のみならず、米、ロシア、EU等の政府や国連からも厳しく批判されている。秘密保護法を制定し、武器輸出三原則を曲げ、さらに今後集団的自衛権の行使容認に突き進もうとする日本政府への国際社会からの警告と懸念の表明でもある。国内世論（共同通信）も参拝に批判的で（参拝は良い43%に対し、良くない47%）、外交関係への配慮が必要であるは実に70%に達している。  
 安倍政権に求めよう「国内外の声を聞きなさい。然もなくば退陣しなさい」と。 坂本 功

### 日本国憲法（抜粋）

**第9条** 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
 2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

お問い合わせ：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。  
 また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。

### 第3回日本国憲法を生かすフォーラム

昨年、12月21日の午後、フォーラム「特定秘密保護法が通ると、日本は、どうなるの？」が開かれた。登壇者が8人という多さで、話題も、イラクー日本における差止め訴訟と現地の映像、沖縄、原発、TPP、そして秘密保護法と広い範囲をカバーしていた。

根っこに流れているのは、「安倍政権の暴走と、それにどう対していくのか」という視点だったと感じた。夏の参議院選挙以降、安倍政権は、TPPへの交渉参加とアメリカに対する妥協、原発の再稼働と輸出に向けての加速、普天間から辺野古への移設の地ならし、そして、秘密保護法と「経済優先」と言葉では言いながら、実質は、アメリカの要求にこたえながら、「戦争のできる国」への準備を進めてきた。

講師の人たちは、それぞれの分野での報告をしながら、これからどう対処していくのか、ということに必ず触れた。特に、秘密保護法は、可決・成立したけれども、撤廃に向けて新しい闘いが始まる、ということを描かれた。また、この法律は憲法違反の内容を含んでおり、諸外国の例ーインドのガンジーや米国のM・ルーサー牧師ーにならって不服従の運動を起こし、憲法違反という判決を得ていくような運動の提起もされた。

まとめを弁護士の宇都宮健児さんが行った。「安倍政権の暴走の一年であった。しかし、猪瀬知事の献金疑惑に端を発した今回の都知事選挙は向こうが用意してくれたチャンスだ。」と述べた。都知事選への立候補を強く意識されていたのだと思う。2014年は、沖縄の名護市長選、通常国会の開会、都知事選と続いていく。一方で、秘密保護法の施行、集団的自衛権の行使容認の動きなど、緊迫した状況が続くものと思います。闘いの輪を更に大きくしていくことが大事だと痛感しました。



(代田2丁目・伊東 宏)

#### 集会等の紹介

1月24日(金) 午後0時半～

「秘密保護法」廃止へ！国会大包囲行動

参院議員会館前、首相官邸前集合

1時半と2時 ヒューマンチェーン

3月8日(土) 午後2時～

暴走安倍自民とどう対峙するか？ — 集団的自衛権・秘密保護法・沖縄 —

講師：石崎 正博 氏 (独協大学大学院教授・憲法学)

北村 肇 氏 (元『週間金曜日』編集長・元毎日新聞記者)

会場 明治大学 駿河台校舎・リバティータワー 10階 1103教室

(JR御茶ノ水駅 地下鉄新御茶ノ水駅下車)

主催者・連絡先：「九条科学者の会」 TEL 03-3811-8320

3月9日(日) 午後1時～

0309 NO NUKES DAY 原発ゼロ☆大統一行動 ～福島を忘れるな！再稼働を許すな！～

13:00～ 大集会 \*場所：日比谷野外音楽堂

14:00～ 巨大請願デモ／国会大包囲

主催：首都圏反原発連合／さようなら原発1000万人アクション／原発をなくす全国連絡会

#### ——訃報——

ご逝去の報に接しました。ご冥福をお祈り申し上げます。

\* 住谷 秀次 様 2013年12月22日永眠 90才

ニュース No.9 「私の8月15日」掲載

\* 中谷 ノブ 様 2014年1月7日永眠 93才

ニュース No.21 「私の戦争体験」掲載